

地域に根ざし、地域に学び、地域の課題解決を目指す学生たちの自主的な取組を支援する「地域連携学生プロジェクト」を募集します。

# 地域連携学生プロジェクト2019 募集!

申請期間：4月5日（金）～4月26日（金）

助成金額：上限25万円（助成期間：約1年間（採択日～2020年3月31日））

地域連携学生プロジェクト2019は、申請書類と採択選考会（2019年5月15日（水）12:50～14:30開催予定）での公開プレゼンテーションから総合的に選定します。採択の可否については、採択選考会から約2週間後を目処に、申請プロジェクト代表者・担当教員にFROから通知いたします。

## <申請条件>

- ① 地域と協働および連携を図ることができるプロジェクトであること。
- ② 本学学生（学部・学科は不問）3名以上で構成されるチームであること。
- ③ 地域パートナーまたは連携先が明確であること。
- ④ 適正な経理処理・事業報告ができること。
- ⑤ 学生が依頼し趣旨を理解してサポートする本学教員（担当教員）がチームに含まれること。

※申請期間内に、次の4点（5点）（プリントアウトしたもの1部とテータ）をFROまで提出ください。

- ① 申請書
- ② 事業計画書
- ③ 収支予算書
- ④ 名簿
- ⑤ 事前着手届

※申請書提出先：京都文教大学フィールドリサーチオフィス（FRO）

（9：00～17：00 光暁館1階入試センター内／TEL：0774-25-2630／E-mail：fro@po.kbu.ac.jp）

※募集要項・申請書（所定様式）テータは、事前にFROまで取りに来てください。

## 地域連携学生プロジェクト2018に採択されたのは、この4団体！

### 宇治☆茶レンジャー（2010年度～）

アドバイザー教員：森 正美（総合社会学部 教授）



宇治茶を学び、学生自身が知った宇治茶の魅力や楽しさを、イベントやワークショップを通じて広い世代に伝える取組を行っています。主催イベントの「宇治茶スタンラリー」は、今年で10年目！地域にもすっかり定着しています。また、昨年から、宇治市の育成学級でのワークショップなど、次世代を担う子どもたちへを発信にも力を入れています。

### 商店街活性化隊 しあわせ工房 CanVAS（2015年度～）

アドバイザー教員：片山 明久（総合社会学部 准教授）  
東 正志（総合社会学部 講師）



JR宇治駅から平等院へと続く、宇治市のメイン商店街「宇治橋通り商店街」の更なる賑わい創出を目指し、店主とお客様双方の視点から商店街の魅力発信に務めるプロジェクトです。商店街主催イベントへの参画や自主企画「宇治ロゲイニング」の企画・実施、商店街やお客様へのアンケート調査などを通して、笑顔溢れる“笑”店街づくりに取り組んでいます。

### 響け！元気に応援プロジェクト（2014年度～）

アドバイザー教員：片山 明久（総合社会学部 准教授）



宇治を舞台にしたアニメ作品「響け！ユーフォニアム」を通して、地域とアニメファンとを繋ぐ活動を行うプロジェクトです。アニメが好き！というメンバーが多く、作品や対象への「愛」がプロジェクトの原動力になっています。その気持ちを活かし、アニメファンが地域に根付くための仕掛けとして、地域イベントやカフェ営業などファンの居場所づくりを行っています。

### KASANE O（2018年度～）

アドバイザー教員：黒宮 一太（総合社会学部 准教授）



ファッションを通して幅広い世代の人たちが交流できる場づくりに取り組んでいます。高齢者から昔着ていた服を「思い出」と共に譲り受け、学生が今どきの感覚でコーディネートし、紹介することで、衣服を通して世代の異なる提供者への興味・関心を持つきっかけをつくります。地域イベントでのファッションショー、オリジナル雑誌の発行、展示会と、精力的に活動を進めています。

主催：地域連携委員会・地域協働研究教育センター

問合せ：フィールドリサーチオフィス（光暁館1F 教務課掲示板前入試センター内）

TEL：0774-25-2630／E-mail：fro@po.kbu.ac.jp